

2023 春は  
生誕190年  
ブラームス。

### 交響曲第3番

Symphony No.3  
大阪交響楽団  
×山下一史(常任指揮者)  
Osaka Symphony Orchestra × Kazufumi Yamashita

### 交響曲第4番

Symphony No.4  
日本センチュリー交響楽団  
×飯森範親(首席指揮者)  
Japan Century Symphony Orchestra × Norichika Iimori

# 4オケの 4大シンフォニー 2023

4 SYMPHONIES BY 4 ORCHESTRAS IN OSAKA 2023

### 交響曲第2番

Symphony No.2  
関西フィルハーモニー管弦楽団  
×飯守泰次郎(桂冠名誉指揮者)  
Kansai Philharmonic Orchestra × Taijiro Iimori

### 交響曲第1番

Symphony No.1  
大阪フィルハーモニー交響楽団  
×尾高忠明(音楽監督)  
Osaka Philharmonic Orchestra × Tadaaki Otaka

2023 **4/15** [土] 14:00 開演 (13:00 開場) **フェスティバルホール** | 大阪市北区中之島2-3-18

チケット料金(全席指定・消費税込み)

S席 10,000円 / A席 7,500円 / SS席 11,500円 / BOX席 15,000円 / バルコニー BOX席(2席セット) 20,000円 / 学生席 3,500円

\*バルコニーBOX席はフェスティバルホール チケットセンターでの電話予約のみ

\*学生席はフェスティバルホール チケットセンターのみで販売(25歳以下/学生本人の名前でご予約ください/当日指定席と引き換え/引き換え時、学生証をご提示ください)

2022. 12/17 [土] 10:00 チケット一般発売

チケット・お問い合わせ | フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221 (10:00~18:00) <https://www.festivalhall.jp> (要事前登録)  
\*フェスティバルホール「友の会」先行予約:12/10[土]~ \*窓口販売は12/18[日]~ (残席がある場合のみ)

チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード:231-172]  
ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:56233]  
CNプレイガイド <https://www.cnplayguide.com/> 0570-08-9990  
e+(イープラス) <https://eplus.jp/>  
セブンチケット <http://7ticket.jp/sc/21nh>

各オケ会員  
先行予約  
12/12[月]~  
一般発売  
12/19[月]~

大阪交響楽団 072-226-5522 (平日10:00~17:00)  
大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890 (平日10:00~18:00/土曜10:00~13:00/日祝休み)  
関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6577-1381 (平日10:00~17:00/土曜10:00~16:00/日祝休み)  
センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311 (平日10:00~18:00)

主催:朝日新聞文化財団、朝日新聞社、フェスティバルホール、大阪交響楽団、大阪フィルハーモニー協会、関西フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団  
協賛:朝日放送グループホールディングス、京阪ホールディングス、サントリーホールディングス、竹中工務店

※やむを得ない事情により曲目、出演者等が一部変更になる場合がございます。公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。※未就学児のご入場はご遠慮ください。

今年も!  
春の  
4オケ祭

# 「4オケの4大シンフォニー」シリーズ第4弾、 2023春はブラームス。

9年目となる大阪国際フェスティバルの名物イベント「春の4オケ祭」。ベートーヴェンで始まった「4大シンフォニー」シリーズを、生誕190年を迎えるブラームスで締めくくります。偉大なるベートーヴェンに匹敵する交響曲を目指すあまり、20年以上にわたる生みの苦しみを味わったヨハネス・ブラームス(1833~1897)。悲劇から歓喜へと至る雄大な第1番(1876)を発表すると、重圧から解放されたかのように独自の世界を切り開いていきます。田園風景を思わせる明るさに満ちた第2番(1877)、瞑想的な第3番(1883)、そして自らが「最高傑作」と語ったという第4番(1885)。四つのオーケストラが競って描き出す、それぞれのブラームス像にご期待ください。

## ブラームス:交響曲第3番

### 1 山下一史 [指揮] (常任指揮者) 大阪交響楽団

MESSAGE

今年4月に大阪交響楽団の常任指揮者に就任して、初めて指揮する「4オケの4大シンフォニー2023」。この企画、画期的だと思う。昨年就任前に4オケの記者会見に出席したが、大阪ならではの温かい雰囲気の中でプレッシャーが期待に変わった。

4つのオーケストラが競演するのだが、「競争」というよりむしろ「切磋琢磨」という言葉が相応しいと思う。私は新参者ではあるが、皆さんの胸をお借りするつもりで、大好きなブラームスのシンフォニーを指揮したいと思う。



©Gai ueda

#### PROFILE

山下一史 [指揮] Kazufumi Yamashita, Conductor

ニコライ・マルコ国際指揮者コンクール優勝。カラヤンが亡くなるまでアシスタントを務める。千葉交響楽団音楽監督、愛知室内オーケストラ音楽監督、大阪交響楽団常任指揮者、東京藝術大学音楽学部指揮科教授。

大阪交響楽団 Osaka Symphony Orchestra

1980年創立。2022年4月、新指揮者体制として、山下一史(常任指揮者)、柴田真郁(ミュージックパートナー)、高橋直史(首席客演指揮者)の3名が就任、さらなる楽団の飛躍が期待されている。

## ブラームス:交響曲第2番

### 3 飯守泰次郎 [指揮] (桂冠名誉指揮者) 関西フィルハーモニー管弦楽団

MESSAGE

大阪に個性豊かな4つのオーケストラがある、という喜びを満喫できるこのシリーズは、なんと素晴らしいことでしょう!今年とりあげるブラームスは、関西フィルと私が共に培ってきたレパートリーの中でも、特に力を注いできた作曲家です。第2番は、後期ロマン派の立派な交響曲でありながら同時に、すべてが自然現象ともいえるべき、かけがえのない魅力に溢れています。

この特別なコンサートで演奏できることを、心から楽しみにしております。



©京藤章

#### PROFILE

飯守泰次郎 [指揮] Taijiro Imori, Conductor

関西フィルハーモニー管弦楽団桂冠名誉指揮者。これまでに読売日響、プレーメン、マンハイム、ハンブルク、レーゲンスブルクの各歌劇場の指揮者、エンスヘデ市立歌劇団第一指揮者、東京シティ・フィル、名古屋フィル、関西フィルの常任指揮者、新国立劇場オペラ部門芸術監督を歴任。

関西フィルハーモニー管弦楽団 Kansai Philharmonic Orchestra

1970年に発足。2018年公益財団法人化。世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイが2011年より音楽監督に就任し、首席指揮者の藤岡幸夫、桂冠名誉指揮者の飯守泰次郎とともに活動。2020年には楽団創立50周年を迎えた。

## ブラームス:交響曲第4番

### 2 飯森範親 [指揮] (首席指揮者) 日本センチュリー交響楽団

MESSAGE

このシリーズで何度か指揮をして参りましたが、「大阪ならではの」このコンサートの意義が全国に知れ渡ったことはとても大きな成果です。今回、ブラームスの第4番を指揮しますが、この作品は私がブラームスの中でも一番大切にしてきた作品です。それはブラームス自身が古典をもう一度見直し、ドイツロマン主義と独自の手法で融合させ、作品から大きなエネルギーを感じさせてくれるからです。

ぜひ皆さんに私のドイツ生活で感じ得たブラームスをお聴きいただけたら幸いです。



©山岸伸

#### PROFILE

飯森範親 [指揮] Norichika Iimori, Conductor

桐朋学園大学指揮科卒業。パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー響首席指揮者、山形響桂冠指揮者、いづみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインド・中部フィル首席客演指揮者。23年4月より群馬響常任指揮者就任予定。

日本センチュリー交響楽団 Japan Century Symphony Orchestra

1989年発足。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。定期演奏会等の公演のみならず、地域発展や教育プログラムにも力を入れている。

## ブラームス:交響曲第1番

### 4 尾高忠明 [指揮] (音楽監督) 大阪フィルハーモニー交響楽団

MESSAGE

1971年、初めてブラームス1番を千葉大学で振った。その年、N響のコンサートデビューも、また翌年の東京フィルデビューも同じブラームス1番だった。自分にとって最も大事な曲の一つである。数年前、ガン治療のため数ヶ月活動を休止したが、治療開始前の最後のコンサートも同じだ。終演後、舞台からその旨をお客様にお伝えすると、一人の女性が大きな声で「頑張って!」と。本当に励まされ、大阪の人情がとても嬉しかった。今回の4オケでもやはり1番が回ってきた。何かしら因縁の様なものを感じている。



©Martin Richardson

#### PROFILE

尾高忠明 [指揮] Tadaaki Otaka, Conductor

大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督。国内の主要オーケストラをはじめ、ロンドン響、ベルリン放送響など世界各地のオーケストラへ客演。NHK響正指揮者などを務めている。

大阪フィルハーモニー交響楽団 Osaka Philharmonic Orchestra

1947年「関西交響楽団」の名称で創立、1960年改称。創立から2001年まで朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務め、大植英次、井上道義の後を受け、2018年4月より尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホールを中心に全国各地で演奏活動を展開している。